

栃木県那須塩原市、アサヒ飲料、カゴメ「包括連携協定」を締結 3 者が協働し、地域の課題解決を目指す

カゴメ株式会社(本社 愛知県名古屋市、社長 山口 聡、以下「カゴメ」)、栃木県那須塩原市(市長 渡辺 美知太郎、以下「那須塩原市」)、アサヒ飲料株式会社(本社 東京、社長 米女太一、以下「アサヒ飲料」)は、地域の課題解決に取り組むことで、地方創生の実現に資することを目的とし、11 月 13 日に「包括連携協定」を締結しました。

カゴメとアサヒ飲料は、持続可能な環境都市の実現を目指す那須塩原市の取組みに賛同し、地域の自然環境の保全を図る企業や個人でつくる「ネイチャーポジティブ那須野が原アライアンス」に参画しています。今後、環境分野での連携を中心としつつ、3 者が協働することで、地域の課題の解決に取り組んでいきます。



(左)アサヒ飲料株式会社 関東本部長 鈴木 良輔

(中央)那須塩原市 市長 渡辺 美知太郎

(右)カゴメ株式会社 執行役員コーポレート企画本部経営企画室長 吉見 信彦

■連携事項

- (1)「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」(※)に関すること
- (2)健康増進に関すること
- (3)子育て、教育に関すること
- (4)地域の産業振興に関すること
- (5)安心、安全なまちづくりに関すること
- (6)その他、地方創生や地域活性化に資する取組に関すること

※「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」とは、那須塩原市が、持続可能な環境都市の実現に向けて公表した、2050 年における市のあるべき姿を描いた環境ビジョンです。

■具体的な取組みの一例

サーキュラーエコノミーの推進に向けたボトル to ボトルの取組

那須塩原市の家庭から回収された使用済みのペットボトルを、新たなペットボトルに再生してアサヒ飲料、カゴメにおいて再度飲料容器として利用する「ボトル to ボトル」リサイクルを開始します。

＜参考＞「ボトル to ボトル」について

「ボトル to ボトル」は、石油由来のペットボトル素材を調達し製造する場合と比較して、CO2 排出量が少ないペットボトルのリサイクル法です。

市民の野菜摂取促進の取組

カゴメの推定野菜摂取量測定機「ベジチェック®」を活用して市民の野菜摂取の促進を図ります。

＜参考＞「ベジチェック®」について

自身の推定野菜摂取量が約 30 秒でわかる機器です。センサーに手のひらを当てるだけで結果がわかります。測定の簡便さが特徴で、他のサービスと組み合わせることで、より行動変容を促すことが期待できます。

※「ベジチェック」は医療機器ではありません。表示値はあくまでも目安となります。



＜報道機関の皆様向けのお問い合わせ先＞

カゴメ株式会社 コーポレート企画本部 経営企画室 広報グループ 北川、岩元

TEL: 03-5623-8503